

平成 20 年度調査・研究事業

## 小坂町における産業観光振興方策策定調査<<秋田県小坂町>>

### 【概要】

秋田県小坂町では、鉱山の歴史に基づき、産業遺産として整備した康楽館・鉱山事務所等の施設を活用した観光に取り組んでいる。また、鉱山技術を活用したリサイクル産業が盛んであるなど、「遺産」の産業と「現役」の産業が共存し、産業観光を進めていくための基盤を有している。

その一方で、近年における産業観光に対する一般的な関心の高まり、東北新幹線八戸～新青森間の開業（平成22年12月目標）により想定される地元観光交通アクセスの変化、および小坂鉄道の鉄道産業遺産としての活用可能性など、小坂町においては、様々な課題に対応した具体的な観光振興方策の構築が必要な状況にある。

本調査は、十和田湖の集客力の高さ、および東北新幹線八戸～新青森間の開業を勘案し、十和田湖観光客を誘客の重点ターゲットとする産業観光の推進をはかるため、産業観光振興の具体的方策の検討・立案に取り組んだ。

### 【対象市町村、モデル地域等】

秋田県小坂町

### 【調査年度】

平成20年度

### 【提案・要請者】

秋田県小坂町

### 【提言内容・その後の活動等】

十和田湖の集客力の高さ、および東北新幹線八戸～新青森間の開業による想定周遊ルートを勘案し、十和田湖観光客を誘客の重点ターゲットとする産業観光を推進するため、現状分析を踏まえて想定観光ルートを設定・検討し、①空間・ルート整備、②観光地づくり、③誘客促進、の3つの観点から、産業観光振興の具体策について提言した。

また、長期的な観点から「行政(町)」、「小坂製錬」という従来からの町の“顔”に「住民・地元企業」が加わった、3者によるバランスの取れたまちづくりを指向し、産業観光振興を図るといふ、「住民参加型産業観光タウン」を目指す必要性についても提言した。

### 【成果品】

報告書(電子データ)

### 【調査体制】

委員会

**【委員長・座長】**

道端 忠孝 ノースアジア大学法学部長 国際観光研究所長

**【事務局】(IVICT は除く)**

近藤 肇 小坂町 産業課 参事

深山 剛 (株)三菱総合研究所 社会システム研究本部 主任研究員

**【調査協力機関】**

(株)三菱総合研究所

**【視察先・ヒアリング先など】****【委員等】(分科会等は除く)**

石塚 友寛 (株)ジェイアール東日本企画 秋田支店長

深谷 政光 (財)小坂町開発公社 参与

矢内 康晴 小坂製錬(株) 総務部長

山脇 康平 (財)秋田県資源技術開発機構 事務局長

**【特記事項】****【区分】**

プロジェクト発掘・支援